

平成30年度 児童用アンケート 第1回結果・改善策

番号	項目	評価				今年度 A, Bの 割合	昨年 割合	昨年 比
		A	B	C	D			
	A:あてはまる B:どちらかといえば、あてはまる C:どちらかといえば、あてはまらない D:あては まらない							
1	授業は、よくわかりますか。	11	5	0	0	100	100	
2	朝読書・金曜日読書・家庭読書がしっかりできていま すか。	8	5	2	1	81	94	▼
3	いろいろな事に挑戦していますか。	9	5	1	1	88	75	○
4	友達が困っていたら進んで助けていますか。	11	4	0	1	94	81	○
5	困ったことがあったとき、相談する人がいますか。	7	6	3	0	81	75	○
6	失敗してもくじけず、やり直したり、考え直したりし ていますか。	8	6	1	1	88	94	▼
7	自分からすすんで運動をしていますか。	11	4	1	0	94	75	○
8	自分からすすんで気持ちのよいあいさつをしています か。	12	4	0	0	100	94	○
9	時間いっぱい、しゃべらずに掃除をしていますか。	4	9	3	0	81	100	▼
10	ハンカチやティッシュを持ち、制服も正しく着ていま すか。	10	6	0	0	100	94	○
11	お祭りなど地域の行事に参加していますか。	15	1	0	0	100	94	○
12	朝ご飯をしっかり食べていますか。	15	1	0	0	100	100	
13	家で、手伝いをしていますか。	9	6	1	0	94	56	○
14	学校での出来事について家族と話をしていますか。	9	5	1	1	88	75	○
15	宿題を忘れずにして、目標時間を超えるようがんばっ ていますか。	12	3	1	0	94	88	○

改善に向けた取組

	課題	具体的取組
2	朝読書・金曜日読書・家庭読書がしっかりできて いない子がいる	できない児童の原因を考え、一人一人に合った本が選べ るように支援する。本の紹介を紙に書くのではなく、み んなの前で実物を見せながら、紹介するようなことが あっても良い。 読書が好きになる取組として、外部講師を招聘しブック トークを定期開催する。
5	困ったことがあったとき、相談する人がいない子 がいます。	アンケートをもとに、個人面談を定期的に行う。何でも 話せる雰囲気作りを大切にする。
6	失敗するとくじけてしまう子がいる	「レジリエンス」を育てるトレーニングを行ってみる。 スモールステップでめあてを持たせ、達成感を味わわせ る。また、失敗の経験も大切にする。負けても深刻になら ず、次につなげていく意欲を育て、やる気が出る声か けを行う。
9	時間いっぱい、しゃべらずに掃除をしていない子 がいます	それぞれの担当場所に於いて、掃除の具体的な指導方法 を明確にする。終わったらお終いではなく、仕事を見つ けて時間いっぱい動く指導をしていく必要がある。反省 カードにその項目を増やし、チェックしていく。
14	学校での出来事を家で話さない子がいる	無理に話させる必要はないと思う。ノーゲームデーは、 家の人と話す等、意図的に話す日を決めて前項で取り組 んでみる。学校だより、学級通信、ホームページ等で、 学校の様子を伝えているので、家庭で話題に上げてもら う。